

令和8年度野菜花き課題別研究会 開催概要

1. 課題名

トマトの育種・生産を取り巻く現状と今後の課題

2. 趣旨

野菜に対するニーズは多様化・高度化する一方で、野菜の生産を取り巻く情勢は厳しく、生産の維持・拡大を図るには優れた品種・魅力ある品種の開発や栽培技術の開発が必要である。そこで、本課題別研究会では、トマトについて育種と栽培の現状の問題点を整理し、今後の研究および技術開発の推進方向を明らかにする。

3. 主催

農研機構 野菜花き研究部門、一般社団法人日本種苗協会(共催)

4. 開催日時

令和 8 年 10 月 15 日(木)13:00(受付 12:00～) ～ 16 日(金)12:10
(情報交換会:10 月 15 日 18:30～20:30)

5. 開催場所

津リージョンプラザ お城ホール(三重県津市西丸之内 23-1)
※近鉄津新町駅から徒歩 11 分

6. 事務局

(研究会全般について)

野菜育種研究領域 ナス科育種グループ

宮武 宏治・山口 博隆

電話 : 050-3533-4612 E-mail : kadaibetsu@ml.affrc.go.jp

(研究会参加申込みについて)

研究推進部 研究推進室 安濃企画連携チーム

伊藤 正裕

電話 : 050-3533-4601 E-mail : kadaibetsu@ml.affrc.go.jp

(裏面につづく)

第1日目(10月15日(木) 13:00～17:20)

- 1) 13:00～13:10 開会挨拶および事務連絡
- 2) 13:10～13:40 ゆめファーム全農におけるトマト生産と課題
JA 全農営農・技術センター 島崎 優樹
- 3) 13:40～14:10 トマト種子の輸出入における検疫の現状
農林水産省 名古屋植物防疫所 河合 良彦
- 4) 14:10～14:40 新興ウイルス ToBRFV がナス科作物に引き起こす諸問題と解決の方向性
農研機構 植物防疫部門 久保田 健嗣
(休憩 14:40～14:55)
- 5) 14:55～15:25 変わり続けるトマト黄化葉巻ウイルスと Ty 抵抗性育種の新展開
近畿大学 農学部 小枝 壮太
- 6) 15:25～15:55 トマト栽培におけるネコブセンチュウの被害とリスクについて
農研機構 植物防疫部門 村田 岳
- 7) 15:55～16:25 トマトキバガの国内における発生状況と課題
農研機構 植物防疫部門 水谷 信夫
- 8) 16:25～16:55 農研機構におけるトマト青枯病抵抗性育種の取り組み
農研機構 野菜花き部門 宮武 宏治
- 9) 16:55～17:15 総合討論
- 10) 17:15～17:20 事務連絡

第2日目(10月16日(金) 9:00～12:10)

- 1) 9:00～9:30 トマト接ぎ木苗生産の現状と課題
ベルグアース株式会社 山口 一彦
- 2) 9:30～10:00 温暖化時代におけるトマトの品質課題に挑む
— 黄変果の発生しにくい『桃太郎ブライト』の育成と普及 —
タキイ種苗株式会社 中山 健治
- 3) 10:00～10:30 民間企業におけるトマト育種「りんか409」「麗月」の育成
株式会社サカタのタネ 榎本 真也
(休憩 10:30～10:40)
- 4) 10:40～11:10 熊本県における生産の現状と高温対策への取り組み
熊本県農業研究センターアグリシステム総合研究所 山並 篤史
- 5) 11:10～11:40 岐阜県における夏秋トマトの高温期安定生産技術の検討
岐阜県中山間農業研究所 福田 富幸
- 6) 11:40～12:05 総合討論
- 7) 12:05～12:10 閉会挨拶および事務連絡

(注) 講演課題名等は変更される場合がございます。